

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

森林資源を活用した新しいコンテンツの創出 ②

自治体名

神流町

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 お金が儲からない

移住希望者の若者が林業や森林活用に興味を持ち、林業や新たなビジネスを始めるために、何が可能か？

2 資源の活用を考える人がいない

山林の所有者、後継者が所有する林業や森林資源の価値を認識し、資源を活用するキーマンになってもらうために、何が可能か？

3 検討体制の弱さ

町民が地域の魅力や森林資源の活用について話し合い、森林資源の適切管理や産業化するために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

森林「逆」バンク	行政が町の関係機関のホームページなどで町の持つ森林資源を情報として集約する。あわせて有効活用を望むユーザーに逆バンクとして募集を行う。	神流フォレストミーティング	町内で今後の神流町の森林について考えるワークショップを行い、異業種間のコミュニケーション機会の場の創出を目指す。定期的開催し、課題から解決方法、企画まで全員ではなしあって実施する。
一日チェーンソーマン体験	休日に町有林（伐採作業現場）で、小・中学生及び保護者を対象に林業現場の見学、伐採体験を行う。高性能林業機械の見学や、枝打ちのポット操縦体験、ノコギリ体験など。	エンジョイ！本モノの大自然	所有者の承諾を得られ次第、町内の山林で山林所有者が、愛好家団体、競技者などにサバゲーやマウンテンバイクができる土地を一定期間貸し出す。受付窓口の役割は、行政観光協会や商工会、森林組合などと協力する。